

2005年11月24日

ASIAN FORMULA RENAULT ROUND 13 in MACAU

開催日	2005年 11月 17日(木)～11月20日(日)
場所	GUIA CIRCUIT (MACAU) 6.12km
エントリー	ASIA RACING TEAM
ドライバー	#52 松村 浩之 (19歳)
結果	予選 5位 / 決勝 優勝

フォーミュラ・ルノー ユーロカップの最終ラウンドで今季2回目の表彰台を獲得し、シーズンを終えた松村選手が、F3の世界統一戦として名高いマカオGPのサポートレース「ASIAN フォーミュラ・ルノー」に出場し、並居る強豪たちを抑え、見事優勝を飾った。松村選手にとって今回が4輪レース初優勝。

F3のマカオGPにはこれまでアイルトン・セナ、ミハエル・シューマッハ、ジェイソン・バトン、佐藤琢磨ら多くのF1ドライバーたちも参戦し、F1への切符を手に入れていることから、マカオは若手ドライバー達の憧れの地であり、目標的存在となっている。近年、AF2000、フォーミュラ・ルノーなどのミドル・フォーミュラがサポートレースとして組み込まれるようになり、同じマカオのコースでレースをすることができるということから、F3マカオGP出場を目指すドライバーたちの参戦希望が殺到している。佐藤琢磨選手もかつてAF2000で優勝、中嶋一貴選手、小林可梦偉選手らもF・ルノーに参戦し、高パフォーマンスを披露している。松村選手が今回参戦を決めた理由はいくつかあるが、1つは今後F3で参戦する際にマカオのコースを経験していることが大きなアドバンテージとなると考えたため。また、今季のフォーミュラ・トヨタのチャンピオン大嶋和也選手や松村選手のFRF-S時代の同期で今季フォーミュラ・ドリームのチャンピオン塚越広大選手、F・ルノーのユーロシリーズ3位のY. CLAIRAY選手、イタリアシリーズ8位のL. PERSIANI選手らも参戦することから、今年1年間のヨーロッパでの武者修行の成果を試す絶好の機会と考えたためである。

マカオ・ギアサーキットはマカオの市街地を駆け抜ける公道レース。コース幅は狭いところで僅か7m、当然グラベルなどなく、僅かなミスでウォールやガードレースの餌食となってしまう、超難コースとして有名である。今年、松村選手はユーロカップで市街地コースを経験しているものの、マカオは初挑戦。フォーミュラ・ルノーはこのレースウィークで練習走行が30分1本しかないことから、事前にF3のオンボード映像で予習をしっかりと行い、マカオ入りしたあとは、車の通りがほとんどなくなる深夜から明け方にかけてレンタカーでコース下見を繰り返し行うなど、万全を期して本番に臨んだ。

11月 17日 (木)




PRACTICE

前述の通り、予選前の練習走行は木曜日の30分1本のみ。この30分という僅かな時間の中で難コースを攻略しなければならないのだが、松村選手は計測1周目の最終コーナーで他車のクラッシュに巻き込まれ、ストップ。僅か2周弱しか走行できないまま、予選本番を迎えることとなってしまった。マカオでは自分自身に非はないにも関わらず、巻き込まれてクラッシュすることが非常に多い。松村選手もマカオの洗礼を受けることとなった。

PRACTICE

出走 31台

POS		DRIVER	NAT.	TIME
1	63	Luca PERSIANI	ITA	2:26.899
2	2	JIM Ka To	HKG	2:27.856
3	58	Tyson SY	PHI	2:29.329
4	34	Yann CLAIRAY	FRA	2:29.387
5	4	Yoshihisa NAMEKATA	JPN	2:30.568
6	88	David LOUIE	USA	2:31.463
7	85	LIN Po Heng	TPE	2:32.408
8	5	Henry LEE JNR	HKG	2:32.661
9	53	Motohiko ISOZAKI	JPN	2:34.544
10	57	Kazuya OSHIMA	JPN	2:34.973
=====				
11	56	Yuhi SEKIGUCHI	JPN	2:35.076
16	64	Koudai TSUKAKOSHI	JPN	2:41.396
28	52	Hiroyuki MATSUMURA	JPN	13:32.214

11月 18日 (金) 


QUALIFY

予選は30分間。前日の練習走行では周回数が僅か2周弱だった松村選手であったが、計測3周目には早くも2分26秒台に入れ、上位につける。山側セクションではオーバーテイクが難しいことから、如何にクリアラップを取るかが予選での重要なポイントであったのだが、予選後半はなかなか自分のペースでアタックすることができず、それでも5番手に入り、決勝レースは3列目からのスタートとなった。

QUALIFY

出走 31台

POS		DRIVER	NAT.	TIME
1	63	Luca PERSIANI	ITA	2:23.363
2	57	Kazuya OSHIMA	JPN	2:23.885
3	58	Tyson SY	PHI	2:24.188
4	5	Henry LEE JNR	HKG	2:25.556
5	52	Hyroyuki MATSUMURA	JPN	2:25.898
6	4	Yoshihisa NAMEKATA	JPN	2:25.963
7	56	Yuhi SEKIGUCHI	JPN	2:25.986
8	2	JIM Ka To	HKG	2:27.101
9	64	Koudai TSUKAKOSHI	JPN	2:27.155
10	85	LIN Po Heng	TPE	2:27.308

11月 20日 (日) 

RACE

前日の予選5位という結果にもまったく満足していなかった松村選手。「まだまだ詰められるポイント一杯ある」と、決勝レースでは上位フィニッシュへの自信を覗かせる。

レースは9時12分にスタート。好スタートを切った松村選手は2つポジションを上げ、#63 PERSIANI選手、#57大嶋選手に続き、3位でリスボアコーナーに進入する。しかし、オープングラップで早くも多重クラッシュが発生、マシンの回収作業が終了するまでの間、2周に渡ってセーフティーカーが導入される。マカオは例年よりも涼しく、レースも午前中早い時間にスタートしたということもあり、気温は低め。マシン回収の時間稼ぎのため、通常よりもスピードの遅いセーフティーカーランに、タイヤのグリップを確保するため、各車マシンを大きく左右に振ってタイヤを暖め、リスタートの時を待つ。そして4周目、セーフティーカーがコースから離れ、グリーンフラッグが振られると、松村選手は一気に前車大嶋選手をかわし、2番手に浮上する。そして、大嶋選手を引き離しながら、トップPERSIANI選手を追走。一時その間隔は1.9秒に離れたものの、6周目、7周目と立て続けにファステストラップを叩き出しながら、再び射程圏内に収める。ところが、8周目の山側セクションでまたしても多重クラッシュが発生。赤旗が掲示され、レースは中断。2周前の6周終了時点の順位で決勝レースは終了となる。6周終了時点ではPERSIANI選手に続き、2番手だった松村選手だったが、セーフティーカー導入中に2回のスタート練習を行ったPERSIANI選手に対して、赤旗前に25秒加算のペナルティーが課せられていたため、松村選手が自動的にトップ浮上。今季4輪レースにデビューを果たした松村選手はマカオで記念すべき4輪初優勝を飾った。2位はFTチャンピオンの大嶋選手、3位はFDチャンピオンの塚越選手。両チャンピオンを抑え、表彰台の真ん中に登った松村選手。小柄な身体からは一見想像できないそのダイナミックな走りにバドックでは賞賛の声が相次いだ。

RACE

出走 31台

POS		DRIVER	NAT.	TIME	BEST LAP
1	52	Hyroyuki MATSUMURA	JPN	27:45.764	2:24.420
2	57	Kazuya OSHIMA	JPN	3.284	2:24.913
3	64	Koudai TSUKAKOSHI	JPN	4.768	2:25.515
4	4	Yoshihisa NAMEKATA	JPN	6.661	2:26.405
5	5	Henry LEE JNR	HKG	16.389	2:27.686
6	56	Yuhi SEKIGUCHI	JPN	16.867	2:26.520
7	63	Luca PERSIANI	ITA	23.086	2:24.482
8	29	Aaron CARATTI	AUS	24.228	2:31.253
9	90	CHOI Koon Ming	HKG	30.566	2:33.078
10	35	Eduardo Juan PENA	PHI	33.218	2:31.734

Fastest Lap Hyroyuki MATSUMURA JPN 2:24.420 (6/6)

関連 Web Site
Macau Grand Prix
<http://www.macau.grandprix.gov.mo/>
Asia Racing Team
<http://www.art-motorsports.com/>